SCARPA INSTINCT S

REPORT

2010年9月4日

The Ranch

スカルパ　インスティンクトS フィールドテストレポート....

普段から愛用しているシューズ
FIVE-TEN.　　DRAGON.9H　　PROJECT.8H　　5X.8H
SPORTIVA.　　SPEEDSTER.39H
SCARPA.　　STIX.40H
比較的ダウントゥーシューズのスリップオンを愛用しています。　　**インスティンクトSは40Hを使用**

at GYM

比較的長時間履いたままで登る事が多いので、ジャストサイズで長時間履いてられるダウントゥーのスリップオンシューズとしては最適なシューズ。アッパーの人工皮革のロリカ素材は、ソフトな足あたりで軽い、本革よりも伸びが少ない点はサイズ選びにそれほど神経質にならなくて良い事も重要なポイント。
さらにアッパーに施した多くのステッチは伸びの抑えとフィット感を作り出し、深めのアッパーゴムはより足首までのフィットをサポートしています。
ホールドに乗せた感じは、セメント系はもちろんウレタン系のホールドとテクスチャー（光沢を出し滑る様に）加工をしたホールドでも問題なく踏めるビブラムXS-2ソールの粘りを感じました。
ダウントゥーの強さも程よく緩めなので、馬蹄形でエッジを強調させるアウトソール形状が、さらに効果的でマイクロスタンスにアウト&インサイドで乗れました。但し、トゥーフックに関してはラバーの位置の悪さで、かかりはいまいち。しかしアッパーでのスメアリング(曲がった指の部分にあるトゥラバーで壁をこすり上げる)ではかなり効いて体が安定します。ヒール性能はジムでは全く問題なく当てれます。ヒールは抜ける感じや踵の”浮き”や”あまり”は無いのですが、薄めなラバーの感じがありヒールフックにもかなりテンションが必要な感じを受けました。

at OUTSIDE

灼熱の外岩で爪ほどのスタンスにエッジを置く、豆粒のスタンスをベタ置きで踏む、つるっと磨かれた岩面にステミング.....どれも、問題なく使えます。これは.....重要なポイントで”このスタンスを捉えられるかどうか”で、シューズの履き替えが不必要でムーブに集中できます。
トゥフックはアッパーのラバー位置が下すぎるようで、あまり強引に深くかけすぎると、トップエッジから剥げる可能性も有ります。(＊アッパーにラバーコートを施すとより良くなる可能性が有る様に感じました。)
ヒール性能はジム同様ですが、外岩の方がテンションが必要なく、効きが良いと思いました。

総合評価として、性能は今愛用している靴の中でもオールマイティーさが#1です。
イン＆アウトサイドのエッジング力はどれよりも良いと思います。
エッジング力の強さは相対的に足裏感覚の鈍さを生む様に思っていましたが、インスティンクトは，しっかり踏んでる感覚があります。使い込むほどにもっと敏感になる可能性も感じています。
岩場でたくさんのシューズを持ち込み履き替える煩わしさを解消させられる、1足で事足りるシューズは、
今更ながら、新鮮に感じました。この秋のレースUPにも期待が持てます。¥13,650-の価格は試す価値有りでは無いでしょうか。